

■目標

- 1 読む、聞く、書く、話す活動において、基本的かつ正しい方法を身につけます。
- 2 社会生活で必要と思われる題材を、具体的な学習として取り入れ、将来にわたって活用できる知識を身につけます。

■学習内容

＜読む・聞く＞	語句の意味や話の意図や要点など、必要な方法を知るための方法を学びます。 辞書の活用や様々な題材をとおして、知識を探究する態度を身につけるとともに、娯楽と鑑賞による読書の楽しさを知ります。 【具体的な内容】 辞書の使い方、文章読解（説明文・小説・随想）、メモをとる
＜書く・話す＞	文字の大きさや配列を理解し、字形を整え、楷書で文字を丁寧に書く技術と習慣とを身につけます。 自分の考えをまとめ、相手に伝わるように書いたり、話したりする力を身につけます。 【具体的な内容】 書字、書道、文章表現（感想文・作文）、手紙の書き方、履歴書等の書類の書き方、社交辞令、ディベート
＜伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項＞	長音、促音、撥音、拗音などの表記や助詞や敬語の正しい使い方を学びます。 話し言葉と書き言葉の違い、敬語、社交辞令など、社会生活に必要となる状況や用途に応じた正しい言葉の表現方法を学びます。 【具体的な内容】 話し言葉と書き言葉、文法と敬語、祝儀・不祝儀、ことわざ、故事成語

■使用教科書	標準漢和辞典 標準国語辞典							
■評価の方法	出席状況 ○	準備片付け ○	授業態度 ○	質疑応答 ○	ノートテイク	テスト	課題提出 ○	技能 (他 ○)

■生徒へのメッセージ

私たちが毎日、当たり前のように使っている日本語。けれども、その日本語（国語）を正しく使うことのできている人は、果たしてどれくらいいるのでしょうか。
自分の気持ちや考えを相手に正しく伝えるために、また、相手の気持ちや出会った文章の内容を正しく理解するために、いろいろな言葉を知り、適切に使えるように学習しましょう。